

平成 27 年 7 月 10 日

豊島区の人口が 28 万人を突破 ～35 年ぶりに 28 万人に、2 年間で 1 万人増～

豊島区の人口が 28 万人（住民基本台帳人口・外国人含む）を昨日 9 日に突破したことが明らかになった。

豊島区の人口は、昭和 40 年代以降長期的に減少傾向が続いていたが、平成 9 年を底（246,505 人）に平成 14 年まで増加傾向が続いていた。一時的に、社宅の廃止が集中したことや都市計画道路整備に伴う建物の除却などが主な要因となり、平成 15 年、16 年の 2 年間は減少したものの、平成 17 年には再び増加に転じ、平成 27 年 1 月現在では 275,507 人となっていた。1 月 1 日現在の人口で、28 万人を超えていたのは昭和 55 年まで。平成 25 年 4 月に 27 万人を超えており、約 2 年間で 1 万人増えたことになる。

なお、区の人口密度は、平成 27 年 1 月現在ヘクタールあたり 211.8 人となり、全国一の人口密度の高さとなっている。

28 万人を超えたことについての「高野之夫豊島区長のコメント」

「豊島区が新庁舎に移転したその記念すべき年に人口が昭和 55 年以来 35 年ぶりに 28 万人を超えたことを感慨深く思っています。豊島区は、世界中の人にとって魅力ある社会を創造しながらも誰もが安全・安心して文化を楽しめる人間優先の魅力と活力あふれた『国際アート・カルチャー都市』をめざしています。このたびの人口 28 万人突破にあたり、この新たな都市像の実現に向けて、区民の皆様とともに全力で取り組んでまいります。」

問合せ：総合窓口課

平成 27 年 7 月 24 日

3 人の赤ちゃんに 28 万人目の区民として記念品を贈呈 ～ そのうちの一人を高野区長が訪問 ～

記念品を贈る高野区長（一番左）



今月 9 日(木)、豊島区の人口が 35 年ぶりに 28 万人（住民基本台帳人口・外国人含む）を突破した。これを記念して、9 日に出生届を提出された 3 人の赤ちゃんに区から記念品が贈られることになった。贈呈されるのはメッセージカード、自由学園工芸研究所製作のコルク積み木、ふくろうのバッジの三種。

昨夜 7 時頃、高野之夫区長がそのうちの一人、雑司が谷在住の竹田雄伸さん、乃理恵さんの長男・雄惺（ゆうせい）くんを訪問した。雄惺くんは豊島区の人口が 28 万人を突破した 7 月 9 日に生まれた。

高野区長は「記念すべき 28 万人目の区民ということで大変喜ばしいことだと思います。おめでとうございます。」とお祝いの言葉を添え、記念品を贈呈した。

記念品を受け取った竹田夫妻は「雄惺は出産予定日より早く生まれました。28 万人目区民になりたくて早めに出てきたのかもしれませんが。名前のように、輝く子に育ててほしいです。」と笑顔で話した。

なお、ほかの 2 人の赤ちゃんたちについては、職員の訪問または送付により記念品が贈られる。

問い合わせ：区民部総合窓口課